



シリーズ

第68回

人権



子育てから学んだこと

私には子どもが一人います。生まれて間もないころは、夜中に何度も起きて泣き続けるので、数カ月間にわたって家族全員が慢性的な睡眠不足になりました。子どもの誕生の喜びの中でも、日々の生活で非常に辛いと感じてしまったことがあります。全てが経験不足であったといえそれまでかもしれませんが、子どもが想定外の行動をとるなど、育児のことを十分理解できていなかったこともあって、育児疲れで家族中がぐったりしてしまい、生活に余裕がありませんでした。

近年、マスコミなどで児童虐待に関するニュースが数多く報じられています。三重県下でも増加傾向にあり、育児をはじめとするさまざまなストレスが子どもに向けてしまって、虐待を誘発するケースが多いのだそうです。こうしたことは、どの家庭や地域にも起こり得る身近な問題ではないでしょうか。核家族化や少子化の進む今、育児経験のない新米パパや新米ママの置かれている「誰にも相談できない」という環境は、非常に厳しいものがあるような気がします。

これは私自身の経験からなのですが、子育ての悩みを家族や周囲の人、医師や看護師などに相談したことで、心の不安やわだかまりは次第になくなっていったように思います。相談するということは、本やインターネットから得られる育児の知識とは異なり、人と人との触れ合いによって、何ものにも代えられない安心感を得ることができます。これは子育てしていく上で大きな意味があるものだと思います。また、

子どもの話題を通して、周囲の人たちとも会話ができるようになり、さらには地域との新たな結び付きもできました。

子どもは、今では自分の思いを伝えることができるようになり、家族の何気ない動作や口癖もまねるようになりました。このような子どものしぐさは、私たち家族にとって、子どもが生まれるまでは想像すらできなかった楽しい日常の出来事です。

私は子育てというのは、自分たち家族だけでなく、周囲の人々にも協力してもらいながら行っていくものだと感じました。そして、子育てを通して、家族や周囲の人々との結び付きを感じ、改めて人と人とのつながりの大切さについて考えることができました。

今、自治体をはじめ、地域でもさまざまな子育て支援の取り組みがあると聞いています。温かい人とのつながりの中で、子どもと一緒に親も成長していきたいと思います。

(40代 男性)

人権 Pick Up!

今日は何の日?



- 1日 人権擁護委員の日
- 22日 らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日
- 23日~29日 男女共同参画週間
 - 男女雇用機会均等月間
 - 外国人労働者問題啓発月間